八碁連だより

１２月号　　第３０４号

発行日　平成２８年１２月１日（木）
発行所　八王子囲碁連盟
住　所　八王子市久保山町２－３３－１６
電　話　　０４２－６９１－８３４３
発行者　松本　健彦
編集者　中谷　勝信

１１月２３日 AM ６時３０分　東名 駒門ＳＡにて

東名高速走行中 朝焼けの富士が！！ サービスエリアに立ち寄り撮影

八王子囲碁連盟の目的

八碁連は、八王子市内に居住する囲碁愛好者が、囲碁を通じて親睦を図り、かつ、健康を維持できるよう機会を提供し、福祉の増進に寄与するとともに、棋力の向上を図ることを目的とする。

http://yasu1120.la.coocan.jp/hatigoren.html

回　想

石川囲碁同好会　会長 木河　専

今回の寄稿依頼を機に囲碁との係わりを振り返ってみた。
自分がいつ頃囲碁を始めたのかハッキリとは覚えていないが、小？中学校の時に父親から教えてもらった様に思う。当時は五目並べのあいまに囲碁をする程度であったが、父親が観戦するテレビ対局を時々横で見ていたのを覚えている。

大学時代には囲碁好きな友人につれられて休講などの空き時間に囲碁部見学をしていた事もあったが、対局の記憶よりあちこちタバコの焼け跡がある汚い部屋であったという記憶の方が強く残っている。今思えば頭もまだ柔軟なこの頃に熱心に囲碁を勉強していたら少しは強くなっていたかもしれず惜しい事をした。
就職後は同僚と昼休み対局をする時もあったが会社での囲碁の機会は少なかった。一方帰省の折には父親とよく対局をした。お互い負けると「もう一回」となり『食事が出来たからもうやめて！』と母から何度も声がかかった。父親と話をする機会は多くはなかったが、今となっては父親との対局が良い思い出だ。

こうして見ると途切れながらも細々と囲碁を続けてきた事になるが、今の同好会に出会ったのは退職し頭の体操として碁を再開して見ようと思ったのがきっかけだ。最初同好会には知り合いもおらず強い方ばかりの様で上手くとけこめるのか不安もあったが徐々に慣れ今に至っている。自分の経験からも様子も良く分からない同好会のドアーを叩いてくれる方は相当の不安を抱えているものであり、時折くる問い合わせには上手くフォローして仲間に入れていくのが大切だと思っている。

最後に追記になるが、つい最近小学校での囲碁教室ボランテイアに参加した。短い時間であり碁の面白さまではなかなか伝えられないが、若い人達の碁を始めるきっかけになればと感じた。

第６６回　八王子市民文化祭囲碁大会の結果

八王子市民文化祭囲碁大会が１１月３日（木）、八王子市・市民活動推進部課長　山野井寛之氏, 東浅川保健福祉センター館長　広瀬重美氏、をお迎えして小学生から高齢者まで一同に集まり盛大に行われました。

	入　賞　者	参加者数合計 １４１名	一般 ５５名	会員 ８６名
Ｓ組	優　勝　　金田　実　　六段（一般） 準優勝　小川　浄二　八段　（一般） 三位　　小嶋　英基　七段（長房）	六段以上 ２７名	９名	１８名
Ａ組	優勝　　林　　浩明　　五段　（一般） 準優勝　軽部　孝治　五段（一般） 三位　　田中　優　　五段　（一般）	五段～六段 ３１名	１１名	２０名
Ｂ組	優勝　　弘中　顕録　四段　（一般） 準優勝　小林　一郎　四段（一般） 三位　　桜井　紀義　四段　（一般）	二段～四段 ２４名	１８名	６名
Ｃ組	優　勝　　佐々木敏則　初段　（一般） 準優勝　小林　重信　二段　（一般） 三位　　小田　晟男　二段　（一般）	初段～二段 ２０名	８名	１２名
Ｄ組	優　勝　　福田　博行　２級　（石川） 準優勝　岡部　稔　　１級　（一般） 三位　　東　　誠也　１級（一般）	１～４級 １７名	６名	１１名
Ｅ組	優　勝　　遠山　良孝　９級（教室） 準優勝　多田　泰子　８級（教室） 三位　　菅井　勝男　５級（恩方）	５～１０級 ２２名	３名	１９名

Ｅ組の対戦風景（小学生とおじいちゃん達）

Ｓ組の席から見た対戦中の風景

第２７回　八碁連囲碁大会（３段以上）の結果

八碁連囲碁大会３段以上の部が１１月１３日（日）に行われ、対戦に先立ち、今年８０歳になられた１８名の方の高齢者表彰が行われました。

大会の結果　　参加者（５９名）

A組　（六～八段）　２５名
優　勝　小嶋　英基　七段／長房　　準優勝　三島　敏明　七段／浅川　　第三位　吉田　旭　七段／浅川

B組　（五～六段）　１６名
優　勝　山本　数英　六段／川口　　準優勝　白石　能章　五段／恩方　　第三位　鈴木浩治　六段／大和田

C組　（三～五段）　１８名
優　勝　澤田信夫　三→四段／長房　　準優勝　白川博光　五段／長房　　第三位　真辺保幸　三段／恩方

開会式　会長挨拶

A組　決勝・三位決定戦風景

第１８回棋聖大賞囲碁大会のご案内

開催日　　平成２９年１月２２日(日)　午前９時１０分受付開始
場　所　　東淺川保健福祉センター
参加者　　八碁連相談役、技術顧問、指導員、特別任務委嘱者、研修部事務長
　　地区同好会会長ほか１名、七段以上の会員、理事
連　絡　　参加該当者には、別途案内を差し上げます。

投稿

雄藏と秀策

長房囲碁同好会　　会長　池口　隆久

囲碁史上において、本因坊秀策はあまりにも有名であるが、太田雄藏は、その陰に隠れているかに思える。安田栄斎（秀策）は天保８年上野車坂下の本因坊家道場に入門している。当主は丈和、名人碁所を兼ねていた。まだ、直接師匠には打ってもらえはしなかったろう。

秀策と雄藏の初手合わせは、天保１３年（１８４２年）５月３日だった。雄藏は３６歳で6段、秀策は１４歳（2段）だった。この時の手合いは、２子置き打っている。８月７日までに１１局打ち、秀策の７勝３敗１持碁だった。囲碁手合いが先二に改められた。

秀策は兄弟子たちの研究手合いに明け暮れていた時、当主の丈和が栄斎（秀策）の碁に目を留め「これはまさに１５０年来の碁豪である。わが門風はこれより大いに挙がるだろう」と言ったという。

本因坊家跡目の秀和には、後にかなり打ってもらっているが、一番の好敵手は太田雄藏であった。秀策は、雄藏に鍛えられたと言ってもいいのではないか。雄藏も打つたびに強くなってくる秀策との手合いをかなり楽しんでいたようでもある。雄藏という生涯の好敵手がいたからこそ、秀策が大成したのではないか。また、秀策を秀和の後目に決めた丈和も、才能を見抜く力があったと言うべきか。

雄藏という人物についておもしろい逸話が残っている。彼は、今でいう格好いい男で、僧形になるのが嫌で７段昇段を承知しなかった。当時は、７段になれば頭を丸めてお城碁をつとめる義務が。彼はそれを嫌ったのである。また、彼の碁には目外しの碁が多いが、性格も派手であったようだ。

私は、道策・丈和・秀和・秀策・秀甫などの系列の人が好きだったが、派手な雄藏はあまり好みではなかった。だが、一度こころみに、雄藏の碁を並べてみたら、驚いた。手筋の宝庫のような碁であった。もうひとつ面白いと思ったのは、雄藏は、どの一手にも相手の意図をはぐらかし、逆手に取るような工夫を随所に見せてくれる。こういう相手と碁を打っていたら、秀策も強くなったはずである。もちろん秀策の、無理をしない碁風、理知的な読みの深さは素晴らしいが、雄藏の、華やかな筋っぽい囲碁も素晴らしいと思う。

丈和の娘を妻とし、坊家の卓抜した先輩たちと、生涯の好敵手太田雄藏に恵まれた秀策は幸せであったろう。それも、親孝行で、周囲の人に対してやさしかった秀策の人柄がそういう環境を造ったとも考えられないか。

負けず嫌いは碁が強くなる？

囲碁や将棋などの勝負事は、負けず嫌いでなければ強くならないと時々耳にします、本当にそうでしょうか？負けた悔しさのため、負けた原因の分析を熱心にやり、またその後に勉強を一生懸命する、逆に負けても何にも感じない人は進歩が遅いとおもいます。

では、負けず嫌いの人は皆、碁が強くなれるのでしょうか、むしろ上達を妨げる場合があると思います。以下のような負けず嫌いは上達が遅れたり、挫折したりすることがあると思いますので注意しましょう。

● 目先の勝敗にこだわりすぎる

碁に負けて悔しいので勉強するか、それとも悔しいのでその人とは打たないか、これが分かれ道、負けるのがいやでその人と碁を打たなくなる人、あるいは打つのを避けようとしている人を時々見かけます。

● 人を避けパソコン対局ソフトを相手にする

弱くてバカにされるのが悔しいので、パソコン対局ソフトで強くなってまわりを驚かせてやろうという魂胆、でもパソコンだけで強くなった人を聞いたことがありません、碁はいろいろな人と打って強くなるものだと思います。

● たくさん石を置く相手を避ける

５目も６目も置いて打つ置き碁では、どうせ最後には負かされると思うのか避ける人を見かけることがあります。せっかく強い人と打てるチャンスなのに！！　碁は自分より強い人と打たないと強くならないと思うので、こういうタイプの負けず嫌いは上達を妨げています。

● 人に教えられるのが嫌い

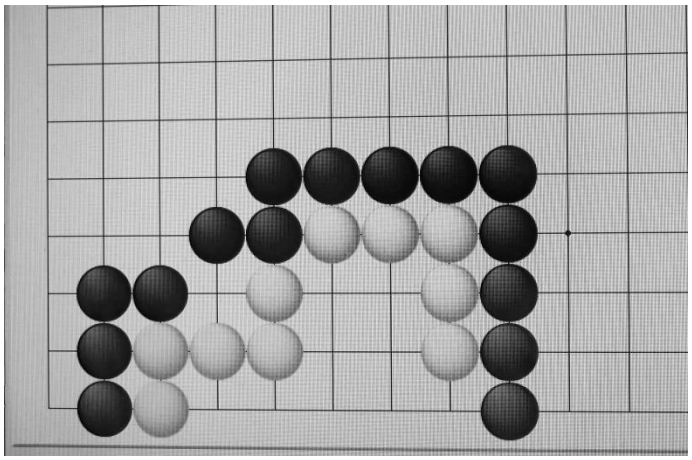
教え方にもよると思いますが、対局のあとに高段者が教えてくれることには、ありがたいと思わなければなりません。碁の解説書を読むより効果があるはずです。教えられるのが嫌い、あるいは教えられてもその通りに打ちたくない、そうゆう人は上達が遅れるのではないでしょうか、負けず嫌いの人は、同時に素直さを身につけると、その碁への集中に向けることが出来、早く上達できるでしょう。

１１月号　攻め合い問題の解答

問題（1）　①　１３の一　②　９の三　③　１４の二（ほりこみ）

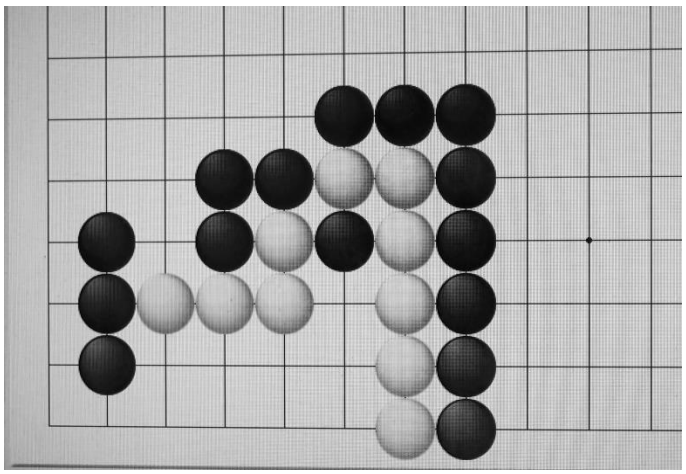
問題（2）　①　１３の一　②　１３の二　③　１４の一

１２月号　実戦で役立つ辺の死活



問題（1）
　レベル　二段以下

黒番です
細工を施して、一歩ずつ追い詰めます。
急所はどこですか



問題（2）
　レベル三段以上

黒番です
ポイントは仕掛けるタイミングです。
手順に気をつけましょう

編集後記　　１１月に入り、やっと太陽が顔を出す日が多くなりました、しかし野菜の高騰は顔を隠さず、奥様達だけでなく、マスコミも、いつ、もとにもどるのかと・・・・・
１１月３日は文化の日、八王子市内でもあちらこちらで色々な催しがあり、みなさんそれぞれに秋を満喫したようです。私達囲碁のグループでも、市民囲碁大会を行い、その準備に大変でしたが、担当の皆さんの奮闘のおかげで成功裏に終わり、勝った人も、負けた人も文化の日を楽しんでいたようです、理事一同安堵しているところです。